

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学

長野県塩尻市広丘郷原1780

☎ (0263) 52-3100

www.mdu.ac.jp

1部60円

Work is Life ～仕事を通じて成長を実感～

NHK長野放送局長に聞く 放送100年～ひとりを思う、みんなのメディアへ～

キャンパスの紅葉が見頃を迎えた小春日和の11月21日（木）、本館7階講堂において、松谷 豊講師（日本放送協会長野放送局長）を迎えて、歯学部全学生を対象とした特別講演会が開催された。学生約400人に加えて、教職員も第3回FID研修会として参加し、講堂は満席となった。

松谷局長は、1993年に日本放送協会（NHK）に入局、静岡放送局を皮切りに、政治報道を中心に仕事をされてきた。2021年には報道局取材センター政治部長、2023年に長野放送局に赴任された。

1925年、関東大震災をきっかけとしたラジオ放送が日本における放送

開始であり、来年100周年を迎える。この震災の際、デマ情報が流布されたことで正確な情報を伝えることが求められ、わずか3か月の準備期間で放送開始された。

NHKの「営利を目的とせず、特定の利益や意向に左右されない」表現の自由を基盤とした受信料による放送の

普及は、世界に類を見ないものである。

近年、不安を煽ったりするSNS上の偽情報が氾濫し、それらの情報に対する対応の難しさがクローズアップされている。

NHKでは「ソーシャル・リスニング・チーム」を立ち上げ、SNS情報の真実性について24時間体制で情報収集と分析を行っている。

正確な情報の発信に努めていることを紹介された。関東大震災の際に提起された情報リテラシーの重要性は現在さらに大きな課題となっている。放送100年プロジェクトのキャッチフレーズ「ひとりを思う、みんなのメディアへ」として、今後NHKが視聴者に寄り添った放送を目指すことを話された。

松谷局長が長野放送局に赴任されてからは、北海道に次ぐ市町村数である長野県内77の自治体をすべて訪れ、それぞれの地域の特徴や課題などを把握してきたそうである。長野県は、自然に恵まれた環境にあり、野菜の摂取量が日本一であることをはじめ、健康長寿県であることが知られている。現在、長野放送局では、「イブ信・知るしん・撮るしん・もぐしん」の番組ラインナップで信州発の「出来事・景色・食」を多角的に報道している。長野県の山岳地形の特殊性から、NHKは中継局を多く

紹介された。

松谷局長のスーダン紛争における取材経験は大変印象深いお話であった。健康状態を悪化させる厳しい生活環境の中でのたった一人での取材、現在のような通信技術が無い状況での日本への映像伝送の困難、報道業務の任務の重要性を痛感した。JICA（国際協力機構）における現地での日本人の活躍にも言及さ

い、正確な情報の発信に努めていることを紹介された。関東大震災の際に提起された情報リテラシーの重要性は現在さらに大きな課題となっている。放送100年プロジェクトのキャッチフレーズ「ひとりを思う、みんなのメディアへ」として、今後NHKが視聴者に寄り添った放送を目指すことを話された。

松谷局長が長野放送局に赴任されてからは、北海道に次ぐ市町村数である長野県内77の自治体をすべて訪れ、それぞれの地域の特徴や課題などを把握してきたそうである。長野県は、自然に恵まれた環境にあり、野菜の摂取量が日本一であることをはじめ、健康長寿県であることが知られている。現在、長野放送局では、「イブ信・知るしん・撮るしん・もぐしん」の番組ラインナップで信州発の「出来事・景色・食」を多角的に報道している。長野県の山岳地形の特殊性から、NHKは中継局を多く



取材経験を熱く語る松谷局長

第43回日本小児歯科学会中部地方会大会

信州大学医学部教授・本田秀夫先生が特別講演

秋冷の10月27日（日）、第43回日本小児歯科学会中部地方会大会および総会が2016年（第35回大会）以来、9年ぶりに本学で開催されました。本学の小児歯科学OBで非常勤講師のやしる 歯科クリニックの水島秀元先生（福井県・16期生）が大会長を担当し、筆者が準備委員長として図書館学生ホールと本館7階講堂で開催しました。通例では大会長が所属する県での開催となりますが、福井県には小児科専門医指導医が1名、専門医も3名と少ないことから、水島先生の母校である本学が全面的に協力し開催する運びとなりました。

い、正確な情報の発信に努めていることを紹介された。関東大震災の際に提起された情報リテラシーの重要性は現在さらに大きな課題となっている。放送100年プロジェクトのキャッチフレーズ「ひとりを思う、みんなのメディアへ」として、今後NHKが視聴者に寄り添った放送を目指すことを話された。

松谷局長が長野放送局に赴任されてからは、北海道に次ぐ市町村数である長野県内77の自治体をすべて訪れ、それぞれの地域の特徴や課題などを把握してきたそうである。長野県は、自然に恵まれた環境にあり、野菜の摂取量が日本一であることをはじめ、健康長寿県であることが知られている。現在、長野放送局では、「イブ信・知るしん・撮るしん・もぐしん」の番組ラインナップで信州発の「出来事・景色・食」を多角的に報道している。長野県の山岳地形の特殊性から、NHKは中継局を多く

小児歯教室の那須野 将先生に「発達障がいの特徴と支援」と題し、市民のみならず歯科医師、歯科衛生士、歯学部学生、衛生学院生向けに、発達障がいの対応・支援を正しく理解できるように講演していただきました。また、本大会も歯科衛生認定セミナーを設け、日本大学松戸歯学部有病者歯科検査医学講座の田中陽子先生に「発達障がいの方への健口支援」という内容で講演していただきました。

大会は会員発表であるポスター発表17題、専門医の更新プレゼンテーションも開催され、昼食は立食形式での懇親会とし、演者や会員が親睦を深めることもできた有意義な大会になりました。



小児歯科学会中部地方会大会に参加した先生方



満席の講堂で熱心に聴講する学生たち

小児歯医学教室の那須野 将先生に「発達障がいの特徴と支援」と題し、市民のみならず歯科医師、歯科衛生士、歯学部学生、衛生学院生向けに、発達障がいの対応・支援を正しく理解できるように講演していただきました。また、本大会も歯科衛生認定セミナーを設け、日本大学松戸歯学部有病者歯科検査医学講座の田中陽子先生に「発達障がいの方への健口支援」という内容で講演していただきました。

大会は会員発表であるポスター発表17題、専門医の更新プレゼンテーションも開催され、昼食は立食形式での懇親会とし、演者や会員が親睦を深めることもできた有意義な大会になりました。

第2次石破内閣、波乱の門出

内閣官房参与
松本歯科大学常務理事
特命教授
飯島 勲

今月号は「プレジデント」12月13日号「リーダーの掟 飯島 勲」より、内閣官房参与特命担当として、第2次石破内閣の船出についての記事を要約して紹介します。

11月11日、石破茂首相は、衆参両院の総理大臣指名選挙で無事に続投を決めた。衆院では1回目の投票でだれも過半数に届かず、30年ぶりに決選投票となったが、党首の名前を書く「無効票」が84票あり、石破首相が総理大臣に選出された。立憲民主党の野田佳彦代表は他の野党にも自分の名前を書くように呼び掛けたようだが、政策のすり合わせが間に合わず、決選投票で「野田」と書いたのは共産党だけだった。

この日は、朝から国民民主党の玉木雄一郎代表の不倫報道が

が6月下旬にまでずれ込んだ。

結局、自民党が提案した不信任決議案が可決される見通しとなり、羽田首相は解散することでもできずに内閣総辞職を選んだ。

少数与党の国会運営は難しいものである。石破内閣としては、一つ一つ政策を遂行していくしかない。まずは「年収の壁」問題。基礎控除の103万円の壁については、問題なく石破内閣で対応できるだろう。ただ、国民民主党が主張する178万円までの引き上げが可能かどうかは、税収減との兼ね合いもあり、与野党での調整が必要になるだろう。

面白い数字がある。衆院選後の石破内閣の報道各社の支持率は、軒並み30%台前半に落ち込んだのだが、一方で「辞任は必要か」との質問の回答は「辞任は必要ない」が約6割と過半数が石破首相の続投を認めている。ちなみに共同通信で65・7%、読売新聞が56%、内閣に批



第2次石破内閣

ことを肝に銘じてほしいものだ。私は、今回の自民党の敗因といわれる「裏金問題」という言葉に引っかけを感じている。「裏金」という言葉からは、相当悪いお金という印象を受けるが、実際には政治資金収支報告書の不記載だけである。脱税などの疑いがなかったことは、検察の捜査によって明らかになっている。

さて、日本の首相に先立ち、米国で次期大統領が決まり、トランプ前大統領が復帰することになった。当選直後に各国首脳とトランプ次期大統領の電話会談が行われた。主なところでは、フランスのマクロン大統領と25分、韓国の尹錫悦大統領と12分、石破首相とは5分だった。5分というのはさすがに短すぎないだろうか。両者に通訳がつくことを考えると、単純計算で1人の発言時間は1分強しかない。おそらく、あいさつを交わして、終わりだったのではないかな。実

ところ私は日米関係についてはあまり心配していない。外務省の山田重夫駐米大使と有馬裕北米局長の仕事には絶対的な信頼を置いているからだ。この連載では彼らの仕事ぶりについて何度か触れているが、彼らは会談の際の議題とその背景、訪問先の情報などを事前にリサーチし、外交がスムーズにいくよう情報をまとめているだけでなく、人や車の導線から写真撮影の場所といったことまで事細かに決めており、円滑な外交を下支えしている。11月中旬は、ペルーでのAPEC首脳会議、ブラジルでのG20サミットと外交日程が続く。この日程の中で、外務省はバイデン大統領、トランプ次期大統領との会談を調整しているはずで、彼らのサポートがあれば会談はうまくいかなければならない。石破首相も外務省との連携で、選挙後初の本格的な外交を乗り切ってくれるだろう。

第36回日本レーザー歯学会 森川雅己助教が講演



講演する森川助教

講座（歯内）の森川雅己助教がシンポジストとして講演した。3人のシンポジストはそれぞれ愛知学院大学歯学部歯周病学講座の福田光男先生が「歯周ポケット内バイオフィルム抑制を目的とした新規抗菌光線力学療法システムについて」、森川先生が「レスベラトロールを用いた光線力学療法による根管治療への応用」、東京科学大学（旧東京医科歯科大学）歯周病科の下平 剛先生が

講演（歯内）の森川雅己助教がシンポジストとして講演した。3人のシンポジストはそれぞれ愛知学院大学歯学部歯周病学講座の福田光男先生が「歯周ポケット内バイオフィルム抑制を目的とした新規抗菌光線力学療法システムについて」、森川先生が「レスベラトロールを用いた光線力学療法による根管治療への応用」、東京科学大学（旧東京医科歯科大学）歯周病科の下平 剛先生が

中学生がプロジェクトマップを制作
ワインの製造過程を本学学生に紹介

10月22日（火）、実習館312教室にて、塩尻市立広陵中学の2・3年生が制作したプロジェクトマップを本学第2学年の学生に紹介された。本来であれば制作した生徒

「Photobiomodulation」を応用した「MRONJ」新規予防策の開発。LLLTにBreakthrough Hakusan, Japan)を用い、色素、透過型レーザー、レスベラトロールを組み合わせて抗菌効果を高め組織傷害性を減弱させるという内容であった。後半の質疑応答では座長の片桐さやか先生（東京科学大学）、三谷章雄先生（愛知学院大学歯学部）からLEDによる方法との比較について質問があり、森川先生



中学生が作ったプロジェクションマッピング

はエネルギー強度の違いなどの確に回答していた。さらに、今後増えていく高齢者の狭窄根管や根尖病変に対するレーザーを用いた補助療法の可能性について更なる研究、臨床を行っていきたいと力強く語った。安全かつ効果的なレーザーの使用により新たな歯科治療法の開発につながる事が期待される。

（歯科保存講座（歯内） 教 増田直子

来学し発表した。広陵中学では、総合的な学習の時間において、地域講師とともに探究的・体験的な学びを通して地域社会を知り、人に触れることで自ら進んで学ぶ力や考える力、表現する力を身につける活動を行っている。本年度はプログラミングとプロジェクトマップに興味を持ったか？などの質問項目があり、今後の学習に生かせるよう協力が依頼された。生徒が作成した視聴後のアンケート用紙には、映像は面白かったか？わかりやすかったか？プロジェクトマップに楽しかったか？などの質問項目があり、今後の学習に生かせるよう協力が依頼された。

免疫のない土地での新興感染症の例に洩れず、当初は激烈な症状を呈して死亡者も続出したよう、16世紀中葉のヨーロッパで百万人以上の罹患者が存在し、主要死因の一つであったとの記録もあります。本来は慢性疾患である梅毒

創立者の「視点」



大学誌編集主幹
特任教授
笠原 浩

近年、罹患者の増加が報じられている「梅毒」も口腔内に症状を現す要注意疾患です。

感染症の広域伝播の具体例でもありますが、まずはその歴史から追って見ましょう。

1492年、コロンブスのアメリカ新大陸到達に際して、その一行の何人かが、サンサルバドル島やハイチ島などの住民と性行為を営み、この地の風土病の病原体であったスピロヘータ・パリダ（現代では「Treponema pallidum」と呼ばれる）に感染して、この病気をスペインに持ち帰ったのが発端とされています。

全身疾患と口腔

その2 梅毒①

この病気は、船乗りたちを相手にする港町の売春婦などを通じてたちまちのうちに蔓延し、ヨーロッパ、アフリカ、インド、アジアへと広がっていききました。日本でも1512年（なんとキリスト教や鉄砲の伝来より30年も早い）には患者が発生しています。

恥ずべき性感染症ですから、イタリアでは「スペイン病」、フランスでは「イタリア病」、イギリスでは「フランス病」、日本では「唐瘡（ちやうそう）」などと、各国は渡来元の国名で呼んでいました。

免疫のない土地での新興感染症の例に洩れず、当初は激烈な症状を呈して死亡者も続出したよう、16世紀中葉のヨーロッパで百万人以上の罹患者が存在し、主要死因の一つであったとの記録もあります。本来は慢性疾患である梅毒

は、性行為などでの罹患者の接触で感染してもしばらくは症状が出ません。筆者が受けた講義では「三こすりでも感染する」と三週間後に局所に初期硬結（第一期梅毒）が現れるが、それは自然に消退する。しかし、病原体は活発に増殖して、からだ中に広がっていくし、他者に感染を撒き散らすことにもなる」

「三ヶ月後に全身にバラ疹という赤い発疹（第二期梅毒）が出現するが、これも自然に消える。そして三年を過ぎると、全身にゴム腫という肉芽腫が発生して、組織や臓器を侵蝕する。鼻根軟骨が破壊されて「鼻が落ちる」ことも多い第三期梅毒」

「十三年目ごろには脳もやられて頭もおかしくなるし（脳梅毒、なぜか誇大妄想狂が多いそうだが）、三十年後ぐらいに進行麻痺や脊髄癱など悲惨な最期を遂げることになる。子孫にも先天性梅毒を残す」と「三」尽くしで教えられたことを思い出しました。

「セックス」という人間の本能に關与して、本人が廃人となるばかりでなく、配偶者を害し、子孫にも重大な悪影響を及ぼす「業病」であるばかりか、地域社会をも破壊しかねない「亡国病」であったのです。

一説によると、成吉思汗やその子どもたちに率いられて中国やロシア、東欧まで征服したモンゴル帝国が衰退したのも、この病気のためだったそうです。つまり、男性だけの軍隊には不可欠だった「慰安婦」売春婦が感染源だったのです。

日本の戦国時代でも、多くの武将や兵士が罹患しています。徳川家康は息子の結城秀康が梅毒で若死したので、売春婦には手を出さなかったという話もあります。

「よく噛んでおいしく健康に」 歯の健康と全身の健康をつなぐ市民フォーラム



パネルディスカッションする本学教授と飯島編集委員（左）

松本歯科大学と日本歯科保存学会が主催し、信濃毎日新聞社が共催する市民公開フォーラム「よく噛んでおいしく健康に」が10月5日（土）、松本市の信毎メディアガーデンで開催された。フォーラムには約130人の市民が参加し、歯の健康と全身の健康の関係、そして「噛むこと」の重要性について、本学の教授3人が講演を行った。

生化学講座の宇田川信之教授は「歯を支える歯槽骨の基礎的知識」について講演した。破骨細胞は、骨を作る骨芽細胞が発現する特定のタンパク質と結合して形成されるというメカニズムが25年前に解明され、骨粗しょう症の治療薬や歯周病治療への応用が進んでいるという。さらに、骨細胞が産生するオステオプロテグリン（OPG）が破骨細胞の誘導を抑えること、スクレロスタチンという物質が骨形成を抑制することも明らかとされている。しかし、噛む力（咬合力）が加わることでスクレロスタチンの発現が抑制され、骨形成が促進されるという研究成果が紹介された。宇田川教授は「噛むことが重要である」と呼びかけた。

むことが歯槽骨の健康維持に非常に重要な役割を果たしている」と強調した。

続いて、歯科保存学講座（歯内）の増田宜子教授が「知っていますか？歯の根の治療の最先端」と題し、歯の構造や疾患、最新の治療法について解説した。虫歯や歯髄炎、歯周病の進行メカニズムや、それぞれに応じた治療方法について説明し、特に根管治療の精密さが向上している現状が紹介された。顕微鏡を使うことで効果的な治療が可能となり、細菌感染した歯髄を除去し、再感染を防ぐための高度な作業が行われているという。また、神経や歯の根の病気を予防するために、定期的にチェックすることが重要である」と呼

最後に、総合歯科学研究所の増田裕次特任教授が「カムカムメニューって何？」と題して、

噛むことを楽しむ食事「カムカムメニュー」を提案した。歯ごたえのある食材を用いる、大きめに切る、火を通しすぎないといった工夫で「よく噛む」食事を実現するアイデアを紹介した。「ゴボウのマダレ丼」「砂肝の和風パスタ」などの実例が挙げられ、これらの工夫が健康寿命の延伸やフレイル（虚弱）の予防につながるということが説明された。また、噛むことが脳の働きを活性化させ、低栄養や要介護状態を防ぐ効果があると述べ、「噛む習慣を意識した食生活が健康で幸せな毎日を支える」と訴えた。フォーラムの後半では、信濃毎日新聞社の飯島裕一特別編集

山形保育園で歯磨き指導 紙芝居で園児のハートを掴む



園児に大好評だった紙芝居

令和6年度の長野県における「こどもの健康週間」の取り組みとして、

10月7日（月）、11日（金）、18日（金）の3日間におたり、山形村の山形保育園で、本学より派遣された歯科医師と歯科衛生士による、幼児向けのブラッシング指導およびその保護者を対象としたこどもの齲蝕予防に関する講演会が実施された（主催



園児に大好評だった紙芝居

令和6年度の長野県における「こどもの健康週間」の取り組みとして、

10月7日（月）、11日（金）、18日（金）の3日間におたり、山形村の山形保育園で、本学より派遣された歯科医師と歯科衛生士による、幼児向けのブラッシング指導およびその保護者を対象としたこどもの齲蝕予防に関する講演会が実施された（主催

さつまいも収穫祭 園児たちが大活躍



園児から送られてきた絵手紙

松本歯科大学の管理する約1500平方メートル畑で、紅はるか、安納芋、シルクスイートの3種類のさつまいもが収穫の時期を迎えた10月17日（木）、長野朝鮮初中級学校附属幼稚園の園児5人と先生3人が参加し、歓声を上げながら楽しく収穫体験しました。昼食にはレストラン「雷鳥」の特別メニューを堪能しました。

10月19日（土）には歯学部生11人と衛生学院生27人が参加し、総勢38人で約10000キロ

のさつまいもを収穫。今年も大豊作となり、収穫された芋は学内の売店やレストランで提供されます。参加者は自然と触れ合い、実りの秋を満喫しました。

（日本スコープ株式会社 神倉健太郎）

病院だより vol.61

無痛MRI 乳がん検診スタート

11月11日（月）より本院で無痛MRI乳がん検診がスタートしました。

無痛MRI乳がん検診とは、
（株）ドゥイブス・サーチが提供するMRIを使った「痛みがない」乳がん検診です。高原太郎医師（東海大学、医学博士、放射線科専門医）により2004年に英文発表された最新の検査方法（ドゥイブス法）によって乳がん検査を行います。

- 次の5項目です。
1. 痛くない・見られない
乳房形にくり抜かれたベッドにうつ伏せになり撮影するので、乳房を挟まず、痛みがありません。また、Tシャツや検査着を着たまま検査が行えるため、プライバシーが守られます。
 2. 被ばくがゼロだから安心
マンモグラフィはX線を使用するため、ごく微量ですが放射線による被ばくがあります。MRIは磁力で体内を診断するので、放射線被ばくは一切ありません。
 3. がん発見率が高い（死角がなく精度が高い）
MRIは有効感度範囲が広いので乳房の奥（胸壁）や脇の下まで、撮影できます。死角がなく、どの部分も高精度で検査ができます。
 4. 豊胸術や乳房の手術後も検査可能



無痛MRI乳がん検診

MRIでは乳腺の量に左右されにくいので、乳腺の内部のがんの発見に有効です。注意事項として、MRI検査では強力な磁力を使うので、体内医療機器（ペースメーカー・人工内耳・神経刺激装置・埋込み型除細動器等）、体内金属（素材確認できない金属）、入れ墨・タトゥー・アーマー・閉所恐怖症の方、うつぶせ寝が15分程度できない方などは検査が受けられません。また、MRI装置の特性上、撮影時には大きな音があります。今まで、痛みに弱い・服を脱ぐのが恥ずかしいなどの理由で乳がん検診に抵抗があった方にお勧めです。まずは無理なく乳がん検診を受けてみてはいかがでしょうか。

検査実施日は毎週金曜日午後、料金は22000円です。ご予約は0263-5112365（健診センター）まで。

（放射線検査室 主任 浅輪貴行）

日本小児科学会長野地方会、長野県小児科医会、共催「松本歯科大学小児歯科学講座」。

この取り組みは、日本小児科学会が毎年10月の約1週間を「こどもの健康週間」と定め、キャンペーン活動を展開していることによる。どのような活動を行うのかは、それぞれ各県に委任されているが、長野県においては継続的に本学の歯科医師と歯科衛生士による出張歯科保健活動が展開されている。山形

（小児歯科学講座 准教授 正村正巳）

Alumni News

松本歯科大学校友会

群馬県支部

特別講習実習 デジタルデンティストリーを学ぶ



総会に出席した群馬県支部の先生方

国家試験、大学の現状などの質問等も飛び交い、有意義に報告が行われた。また当日は野本嘉也先生（20期生）とご子息が本学「一日体験入学」参加のため支部総会には不参加となりました。特別講習実習はデンツプライシロナ株をお招きし、デジタルデンティストリーをわかりやすく説明いただいた。実習ではデ

滋賀県支部

最新の救急蘇生プログラムを習得

敬愛なる我が同志・大学創立者矢ヶ崎康博士の掲げる理想の歯科医師像を求め、今年度も滋賀県支部学術講演会を開催した。

10月6日（日）午前8時45分より国立大学法人滋賀医科大学付属病院リッパルテラスにおいて、アメリカ心臓協会（以後AHA）滋賀トレーニングサイト

敬愛なる我が同志・大学創立者矢ヶ崎康博士の掲げる理想の歯科医師像を求め、今年度も滋賀県支部学術講演会を開催した。

ハートセイバーCPR AEDコースに参加した。今回の学術講演会は、受講形式ではなく、参加・実践型の救急蘇生を学ぶべく、小川益弘支部長の肝いりにより実現された。当日は、地域の事業等と重複し、5名の参加にとどまった。しかし、これが逆に功を奏し、受講生5名に対し、インストラ



救急蘇生法を学ぶ滋賀県支部の先生方

クター4名、さらに受講者1名に1体の蘇生練習用ファントムが用意された。この上ない好環境下での実習となった。

筆者も過去に、同様の救急蘇生コースを複数回受講したが、時代は様変わりし、参加登録は言うまでもなくインターネット経由で、事前学習用のテキストは、受講者が電子書籍をダウンロードし、予習するスタイルで

あった。受講後のアンケートはスマートフォンでQRコードを読み取りその場で回答し、実習後の終了テストに合格した受講者は後日、AHAのWebサイトから認定修了書をダウンロードするといった具合である。全てがペーパーレスで、このような実習コースにも時代の波が押し寄せてきている。この波に乗り遅れたら、淘汰されかねないと実感した。

人事異動

〔自己都合〕 9月27日付

七倉 亮 事務局長（契約職員）

〔採用〕 11月1日付

松尾 綾美 事務局総務課 契約職員

鈴木百合恵 事務局総務課 契約職員

〔教授代行〕 11月1日付

笠原 哲三（歯学部地域連携歯科学講座）

2日（月）

学校推薦型選抜（公募制・指校）

校友子女選抜

合格者発表

2日（月）

Ⅱ期試験（第5学年）

4日（水）

総合型選抜Ⅱ期 社会人選抜Ⅱ期 衛生学院

5日（木）

総合型選抜Ⅱ期 社会人選抜Ⅱ期 衛生学院

合格者発表

9日（月）20日（金）

定期試験（第4学年）

16日（月）17日（火）

後期定期試験（衛生学院第3学年）

21日（土）

留学生選抜B・編入学選抜B

24日（火）

留学生選抜B・編入学選抜B

合格者発表

大学院セミナー

徳島大学大学院 教授 湯本浩道先生 歯周病バイオマーカーの探索や研究成果を解説



講演する湯本教授と熱心に聴講する大学院生

ていた。

次に、ご自身の研究内容についてお話しいただいた。始めに細菌感染症である歯周病の発症に深く関与する歯肉の上皮構造と役割・機能について詳細な説明をしていただいた。特に接合上皮は、他の上皮組織と同様に、温度、触覚、痛み等の感覚機能と細菌などの外来からの刺激・侵襲に対する最前線の砦としての物理的バリア機能に加え、抗菌ペプチドなどを産生する自然免疫機構を有している。それらの役割に着目し、歯周病の発症における上皮細胞間接着メカニズムに関与する分子群のパターンの変化が上皮透過性やバリア機能に及ぼす影響について、わかりやすく整理して説明していただいた。

また、歯肉上皮や上皮化歯周組織細胞から分泌される多数の物質を含む歯肉溝滲出液については、歯周病に対する抵抗力と

剣道部創部50周年

記念稽古会・祝賀会開催

1972年の大学開学時に入学した1期生の有志が10月13日（日）、剣道の記念稽古会を行った。

剣道部創部52年目となる本年、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年遅れの記念稽古会・祝賀会が企画された。北海道をはじめ全国から本学体育館にOB（1期生）47期生、衛生

学院卒、技工士科卒）が結集し、現役部員10名が加わり総勢31名での開催となった。最初に、橋本ひかる主将（第3学年）の号令で準備運動が行われ、黙想・拝礼に続いてOB会長の中澤央先生（7期生・茨城県「七段教士」）が号令をかけ、稽古が進められた。参加者が一丸となり汗を流し、白熱する稽古会になった。その後、記念撮影などを行い、ご来賓を迎えた祝賀会会場に移動し、剣道部が歩んだ50年の歴史に花を咲かせた。ご来賓を代表し本学教授の十川紀夫先生（岡山大学歯学部剣道部創立者）からご祝辞、続いて1期生の宮下徹先生（元OB会長）の乾杯のご発声で宴がスタートした。参加者全員から学生時代の思い出話や現役部員とし



記念稽古会に参加した剣道部員とOBの先生たち

Matsumoto Dental University SNS Information



LINE



X



Instagram



facebook

受験生の皆さんへ



見せてほしい 君の個性 君の情熱

一般選抜（Ⅰ期）

共通テスト利用選抜（Ⅰ期）

●試験日 2025年2月2日（日）・3日（月）

◎希望する試験日を選択、または両日の受験も可能です。共通テスト利用選抜は、本学個別試験はありません。

●出願期間 1月6日（月）～1月27日（月）

●試験場 本学・東京・大阪

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室

www.mdu.ac.jp